

教科横断型授業「現代社会」×「地学基礎」 学習指導案

| | | | | | |
|------------------|---|--------------------------------------|---|---|-----------------|
| SDGsでの課題 | SDGsの番号（13番）「気候変動に具体的な対策を」 | | | | |
| 実社会での課題 | 気候に関連する災害は地球上の至る場所で生じる可能性があり、適応能力とレジリエンスの強化は国際的な課題とされている。具体的には、①国ごとの気候変動対策の設定、②気候変動への適応、影響の軽減、早期警戒に関する教育や人的能力の促進とされている。日本においては、特有の気候から生じる災害への対策が国や地方自治体、個人として必要だと考えられる。また、災害が発生するメカニズムを理解し、防災・減災の観点から行動できる人材の育成が課題に挙げられる。 | | | | |
| 生徒に身に付けさせたい資質・能力 | 気候変動と災害への理解を深め、防災・減災の観点を身につけさせることで持続可能な社会に寄与する資質・能力を養わせる | | | | |
| 主題（教材） | 日本特有の気候と災害への対策を考えてみよう | | | | |
| 指導過程 | 学 習 活 動 | 時 間 | 指 導 上 の 留 意 事 項 | 資 料 等 | |
| | 導 入 | 天気図から生じる災害を予想する。 | 5 | ○ 各天気図における特徴を把握させる | ○生徒用端末 |
| | 展 示 | 1 気候に関する事象を復習する。 | 5 | ○ 気候に対する理解を深めさせる | ○生徒用端末 ○プリント |
| | | 2 天気図・衛星画像から災害を再び予想し、災害発生メカニズムを考察する。 | 10 | ○ 資料から災害発生メカニズムを論理的に考察させる | |
| | | 3 土地の成り立ちと発生する災害の種類について学習する | 10 | ○ 「地理院地図」を用いて、土地と災害がどのように関係しているかを捉えさせる。 | ○地理院地図 |
| 開 | 4 各グループが考えた防災・減災対策を発表する | 15 | ○ 資料やシンキングツールを使用して、防災・減災の観点から各グループの対策を論理的に説明させる | ○ロイロノート | |
| 程 理 | ○ 学習内容を確認する。 ○ 本時の感想をまとめる。 | 5 | ○ 学習内容を理解できたか確認し、本時の感想をまとめさせる。 | ○生徒用端末 ○Teams | |
| 備 考 | | | | | |